

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【平成30年11月】

■調査概要（データ対象期間：平成30年11月1日～11月30日）

- 調査期間：平成30年12月1日～平成30年12月17日
- 調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査
- 回収状況：建設業21企業、製造業18企業、卸売業13企業、小売業30企業
飲食業18企業、サービス業50企業（運輸、不動産仲介業を含む）
<合計150企業>
- 調査項目：11月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価
状況向こう3ヵ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI (Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

概況

業況DIはマイナス幅が縮小・水準DIはマイナス幅が拡大

1. 業況判断

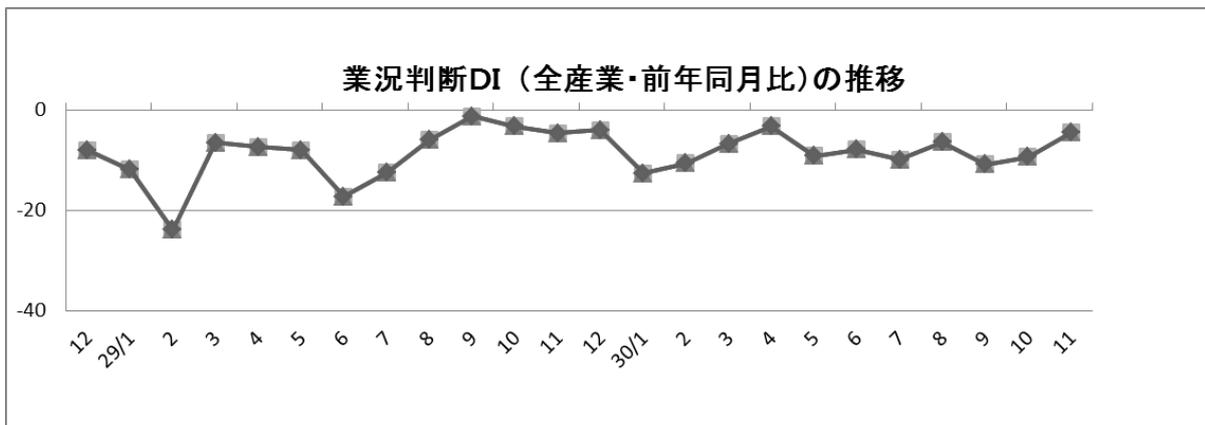
- 全産業合計の業況DI（前年同月比ベース）は、前月（▲9.4）よりマイナス幅が4.8ポイント縮小し、▲4.6となった。業種別では、建設業はマイナスからプラスに転じた。サービス業は0からプラスとなった。製造業はプラスからマイナスに転じた。小売業はマイナス幅が縮小し、卸売業、飲食業はマイナス幅が拡大した。
- 全産業合計の水準DIは、前月（▲8.0）よりマイナス幅が4.0ポイント拡大し、▲12.0となった。業種別では、小売業は変化がなかった。サービス業は0からマイナスになった。建設業、卸売業、製造業、飲食業はマイナス幅が拡大した。

業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	14.7 (13.3)	66.0 (64.0)	19.3 (22.7)	▲ 4.6 (▲ 9.4)	12.7 (16.0)	62.6 (60.0)	24.7 (24.0)	▲ 12.0 (▲ 8.0)
建設業	19.0 (4.3)	76.2 (82.7)	4.8 (13.0)	14.2 (▲ 8.7)	4.8 (8.7)	85.7 (78.3)	9.5 (13.0)	▲ 4.7 (▲ 4.3)
製造業	16.7 (34.8)	44.4 (34.8)	38.9 (30.4)	▲ 22.2 (4.4)	16.7 (26.1)	55.5 (39.1)	27.8 (34.8)	▲ 11.1 (▲ 8.7)
卸売業	7.7 (21.4)	69.2 (42.9)	23.1 (35.7)	▲ 15.4 (▲ 14.3)	15.4 (35.7)	61.5 (35.7)	23.1 (28.6)	▲ 7.7 (7.1)
小売業	10.0 (10.0)	70.0 (53.3)	20.0 (36.7)	▲ 10.0 (▲ 26.7)	10.0 (10.0)	53.3 (53.3)	36.7 (36.7)	▲ 26.7 (▲ 26.7)
飲食業	5.6 (5.9)	66.6 (70.6)	27.8 (23.5)	▲ 22.2 (▲ 17.6)	11.1 (11.8)	55.6 (64.7)	33.3 (23.5)	▲ 22.2 (▲ 11.7)
サービス業	20.0 (9.3)	66.0 (81.4)	14.0 (9.3)	6.0 (0.0)	16.0 (14.0)	64.0 (72.0)	20.0 (14.0)	▲ 4.0 (0.0)

※「業況[前年同月比]」・・・前年同月の業況との比較による回答の集計
「今月の水準」・・・事業主の方の主観による回答の集計

()内は前月データ

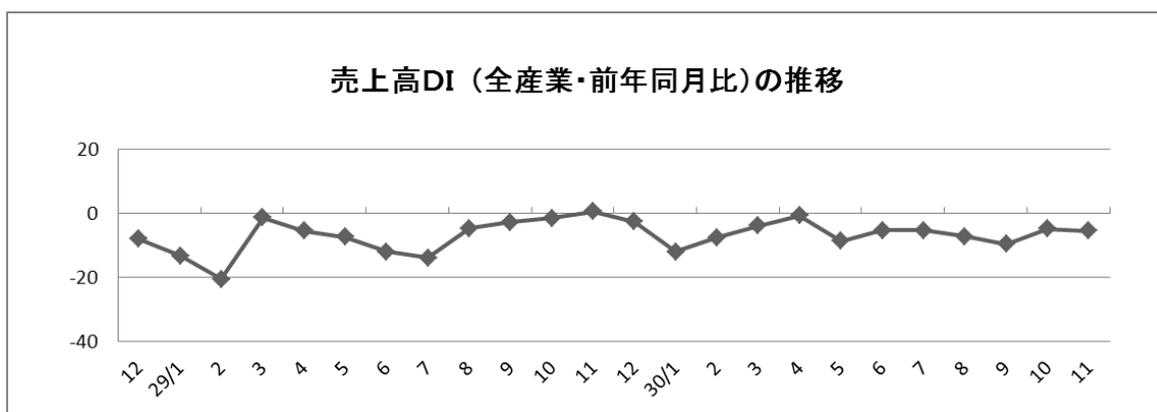


2. 売上高DI（前年同月比）

○全産業合計の売上高DIは、前月（▲4.7）からマイナス幅が0.7ポイント拡大し▲5.4となった。業種別に見るとサービス業、建設業はプラス幅が拡大し、製造業はプラスからマイナスに転じた。小売業はマイナス幅が縮小し、飲食業、卸売業はマイナス幅が拡大した。

【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
全 体	0.7	▲ 2.6	▲ 12.0	▲ 7.4	▲ 3.8	▲ 0.6	▲ 8.6	▲ 5.3	▲ 5.3	▲ 7.2	▲ 9.6	▲ 4.7	▲ 5.4
建 設 業	20.0	20.9	0.0	14.2	16.6	4.6	▲ 4.6	▲ 8.7	4.3	0.0	16.0	8.7	14.3
製 造 業	0.0	▲ 13.7	▲ 4.3	▲ 14.3	▲ 14.3	8.7	▲ 5.0	0.0	18.2	13.0	0.0	8.7	▲ 16.6
卸 売 業	13.4	25.0	6.7	12.5	7.7	▲ 15.4	26.6	▲ 26.7	▲ 18.2	▲ 30.0	▲ 54.5	▲ 7.2	▲ 38.5
小 売 業	▲ 20.7	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 18.2	▲ 11.5	▲ 10.7	▲ 38.7	▲ 8.0	▲ 30.8	▲ 29.0	▲ 10.0	▲ 26.7	▲ 13.4
飲 食 業	0.0	▲ 23.5	▲ 25.0	▲ 35.0	▲ 11.1	▲ 25.0	▲ 22.2	▲ 21.1	▲ 61.1	▲ 15.8	▲ 52.6	▲ 17.6	▲ 22.2
サービス業	0.0	▲ 2.5	▲ 9.5	0.0	▲ 2.7	10.2	2.3	8.5	15.4	2.1	0.0	2.3	10.0

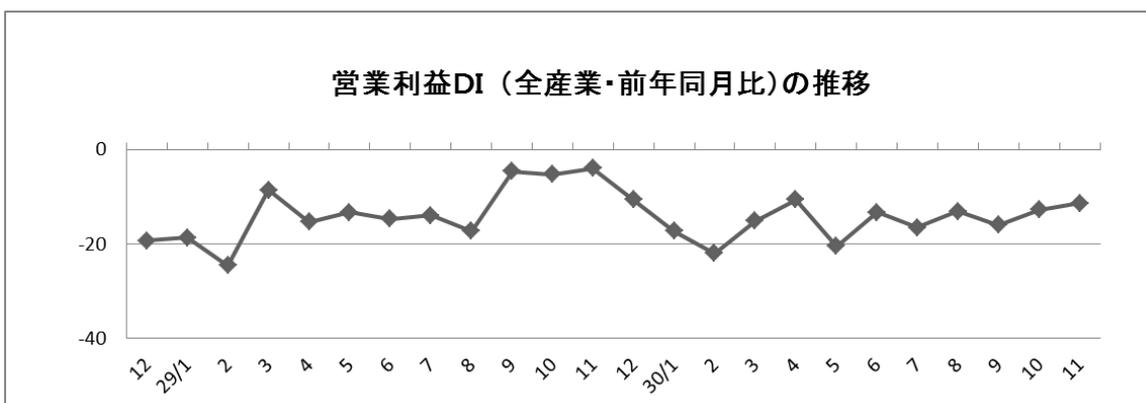


3. 営業利益DI（前年同月比）

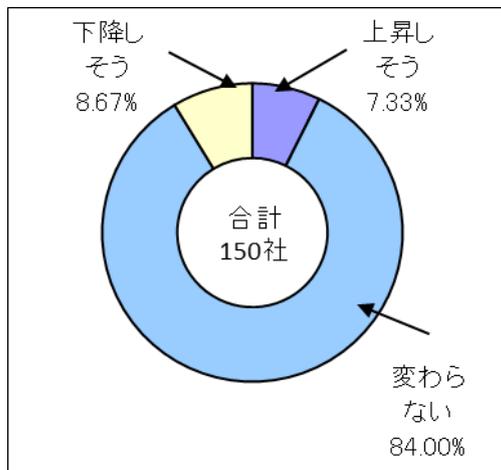
○全産業合計の営業利益DIは、前月（▲12.7）よりマイナス幅が1.3ポイント縮小し、▲11.4となった。業種別に見ると、製造業はプラスからマイナスに転じた。サービス業はマイナスからプラスに転じた。小売業、建設業はマイナス幅が縮小し、飲食業、卸売業はマイナス幅が拡大した。

【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
全 体	▲ 4.0	▲ 10.6	▲ 17.3	▲ 22.0	▲ 15.1	▲ 10.6	▲ 20.5	▲ 13.3	▲ 16.5	▲ 13.1	▲ 16.0	▲ 12.7	▲ 11.4
建 設 業	8.0	▲ 4.2	▲ 13.1	▲ 14.3	▲ 22.2	▲ 22.7	▲ 13.6	▲ 21.7	▲ 17.4	▲ 22.7	▲ 12.0	▲ 13.1	▲ 4.7
製 造 業	5.0	▲ 4.6	▲ 4.4	▲ 47.6	0.0	▲ 4.4	▲ 15.0	▲ 18.2	18.2	13.0	0.0	8.7	▲ 11.1
卸 売 業	▲ 13.3	0.0	0.0	▲ 37.5	▲ 23.1	▲ 15.4	▲ 6.6	▲ 6.7	▲ 18.2	▲ 10.0	▲ 36.3	▲ 7.2	▲ 30.8
小 売 業	▲ 20.7	▲ 20.0	▲ 33.3	▲ 15.1	▲ 26.9	▲ 25.0	▲ 54.9	▲ 20.0	▲ 46.2	▲ 35.4	▲ 20.0	▲ 36.6	▲ 20.0
飲 食 業	0.0	▲ 23.5	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 22.2	▲ 31.2	▲ 33.3	▲ 36.9	▲ 66.6	▲ 26.3	▲ 47.4	▲ 17.6	▲ 33.3
サービス業	▲ 2.3	▲ 9.8	▲ 16.7	▲ 5.1	▲ 5.4	8.1	▲ 2.3	4.3	1.9	▲ 2.1	▲ 6.4	▲ 7.0	4.0



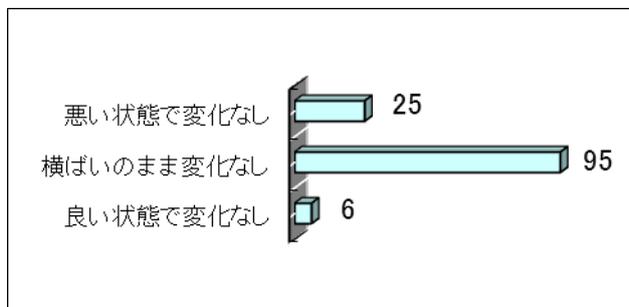
◇ 向こう3カ月の見通し ◇



○平成30年12月～平成31年2月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ2.00ポイント減少し7.33%、「下降しそう」が1.33ポイント減少し8.67%となった。業種別の見通しDIは建設業(4.8)、製造業(▲11.1)、卸売業(▲7.7)、小売業(0.0)、飲食業(11.1)、サービス業(▲4.0)であった。

➡「上昇しそう」では「エコ補助金制度を活用したため」「時期的要因があるため」(小売業)「忘新年会シーズンのため」「温暖化であたたかく、降雪が少なく出足がよさそうと感ずるため」(飲食業)「新商品の売上が伸びる余地があるため」「年末年始は新規のお客様が増える傾向があるため」(サービス業)といった声が寄せられた。

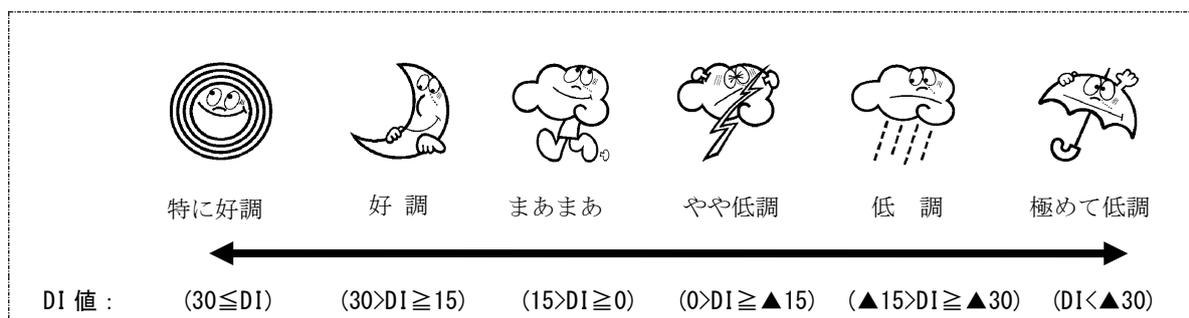
➡「変わらない」では「客単価は下がる一方なのに、材料費等の値上げが多様に増えているため」(製造業)「大口案件が完了、以降回収とその他引き合いがあるため」(サービス業)といった声が寄せられた。



➡「下降しそう」では「冬季は閑散期のため」(製造業)「動きが少し悪いところがあるため」(卸売業)「例年この時期は下がるため」(飲食業)「閑散期で予約状況が良くないため」「オフシーズンに入るため」「増加傾向であった職業訓練受講生が微減に転じたため」「雪不足が本当なら危機なため」「観光・婚礼シーズンが閑散期に入るため」(サービス業)といった声が寄せられた。

業種別景況

<DI | 君の景況判断>



1. 建設業



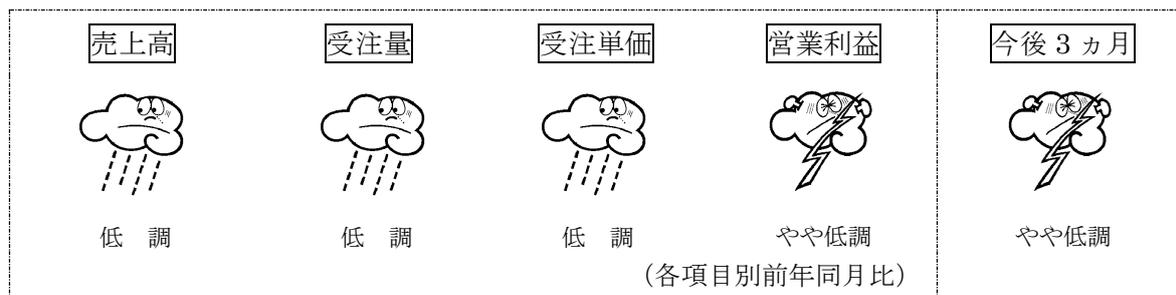
【項目別DIの推移】

	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
売上高	20.0	20.9	0.0	14.2	16.6	4.6	▲4.6	▲8.7	4.3	0.0	16.0	8.7	14.3
受注量	4.0	12.5	▲8.7	19.1	▲9.5	▲4.5	0.0	0.0	13.1	9.1	12.0	▲8.7	9.5
受注単価	0.0	▲12.5	▲8.7	▲9.5	▲5.5	▲4.5	0.0	▲8.7	0.0	4.6	8.0	▲4.4	4.8
営業利益	8.0	▲4.2	▲13.1	▲14.3	▲22.2	▲22.7	▲13.6	▲21.7	▲17.4	▲22.7	▲12.0	▲13.1	▲4.7
見通し	4.0	0.0	8.7	14.3	0.0	4.5	18.2	13.1	8.7	9.1	12.0	4.4	4.8

<経営者の目・見方・e t c>

- 管工事
 - ・昨年度より売上はあるが、利益率が伴わない。単価が上がらなければ利益に結びつかないため新年度の見通しがつかない。
- 土木工事
 - ・ゼネコン各社は昨年並みの受注量は確保している。
 - ・年度末迄にもう少し受注を増やしたい。
- 建築工事
 - ・消費税率UPのため問合せが増えてきている。
 - ・公共工事も思う通りには入札はできなかったが民間の小口受注があり、人手不足であった。年度末に向けての公共工事を期待する。
- 鉄工
 - ・鋼材や資材、高力ボルトの入手難で建方の延期や加工停止等の工事があり、来年からの先行きが案じられる。
 - ・10月同様に資材の入手が困難な状況になっている。
- 造園業
 - ・緑化フェア関連の工事が受注できている。
- 総合建設
 - ・県は9月に41億の補正と20億の災害復旧費を計上したが、現状各社手一杯の状況である。

2. 製造業



【項目別DIの推移】

	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
売上高	0.0	▲13.7	▲4.3	▲14.3	▲14.3	8.7	▲5.0	0.0	18.2	13.0	0.0	8.7	▲16.6
受注量	0.0	▲13.6	▲8.7	▲14.3	▲9.5	8.7	0.0	▲4.5	4.6	13.0	▲4.0	8.7	▲22.2
受注単価	▲15.0	▲13.6	▲8.7	▲23.8	▲23.8	▲13.0	▲5.0	▲18.2	▲13.7	▲13.1	▲16.7	▲8.7	▲16.7
営業利益	5.0	▲4.6	▲4.4	▲47.6	0.0	▲4.4	▲15.0	▲18.2	18.2	13.0	0.0	8.7	▲11.1
見通し	▲5.0	▲9.1	8.7	9.5	▲14.3	▲8.7	15.0	▲4.6	0.0	8.7	▲4.2	▲8.7	▲11.1

<経営者の目・見方・etc>

印刷

- ・印刷業界(頁物印刷)はまだ横ばいの状況である。業界紙では紙の値上げの話が出て来ている。
- ・秋の行政の予算見積りに関連して、公立学校関係の印刷物価格が下がり過ぎている状況が見られる。業者がデフレ価格で競い合えば競い合うほど、予算価格は下落し、容易に歯止めが掛けられなくなっている。自社で制作費、材料費、工賃が見合わなくなっても、安値で取って外部に出してしまうリスクが増大している。

菓子

- ・相変わらずの人手不足が続いている。募集は続けているが、応募が少ない。

金属塗装

- ・昨年比は上昇しているが、10月に比べると低下した。12月以降が心配である。
- ・米中貿易摩擦による輸出親企業の影響が心配である。

3. 卸売業



【項目別DIの推移】

	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
売上高	13.4	25.0	6.7	12.5	7.7	▲15.4	26.6	▲26.7	▲18.2	▲30.0	▲54.5	▲7.2	▲38.5
販売客数	6.6	0.0	0.0	0.0	▲15.4	▲7.7	0.0	▲6.7	0.0	▲10.0	▲27.3	▲14.3	▲15.4
販売客単価	13.3	18.8	6.7	18.7	23.1	0.0	▲6.6	▲6.7	▲9.1	10.0	0.0	14.3	▲7.7
営業利益	▲13.3	0.0	0.0	▲37.5	▲23.1	▲15.4	▲6.6	▲6.7	▲18.2	▲10.0	▲36.3	▲7.2	▲30.8
見通し	▲6.7	▲6.2	▲13.3	▲6.3	0.0	▲7.7	6.7	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	▲7.7

<経営者の目・見方・etc>

土産品

- ・業界全体が悪く、回復の兆しが見えない。自然災害の影響が未だに続いている感じがある。

金属製品

・年末に向け建築業界は忙しい状況にあるが、高炉メーカーを始めとして各メーカーが受注数量をカットしており、厚板中心にタイト感が出ている。

機械工具

・予想通りの売上にはならないものの、昨年下半年があまりに良かったため、昨年同期より悪い数字が並んでいるが悪くない数字ではある。

4. 小売業



【項目別DIの推移】

	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
売上高	▲20.7	▲16.7	▲33.3	▲18.2	▲11.5	▲10.7	▲38.7	▲8.0	▲30.8	▲29.0	▲10.0	▲26.7	▲13.4
販売客数	3.5	▲30.0	▲25.9	▲18.1	▲27.0	▲10.7	▲25.8	▲32.0	▲38.5	▲38.7	▲23.3	▲26.6	▲20.0
販売客単価	▲10.4	0.0	▲3.7	3.0	11.6	17.9	▲19.4	0.0	▲7.7	▲12.9	▲3.3	▲13.4	▲3.4
営業利益	▲20.7	▲20.0	▲33.3	▲15.1	▲26.9	▲25.0	▲54.9	▲20.0	▲46.2	▲35.4	▲20.0	▲36.6	▲20.0
見通し	3.4	▲13.3	7.4	0.0	▲3.9	▲3.6	3.2	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

<経営者の目・見方・etc>

印章

・9月10月のイベントや連休が多かったためか、11月3日の市民祭は人出が少なめに思えた。松本山雅 FC のJ2優勝及びJ1復帰で、来年は他チームのサポーターが増え街の賑わいが増えると思う。

印章・刃物研ぎ

・日照時間が短くなり、人の動きが鈍い。

住宅機器

・二重サッシの問合せが増えてきた。

ショッピングセンター

・市民祭を筆頭にイベントによる動員効果が見られた。特に市街地で複数の拠点で開催した「ママフェス」は普段街場に来られない親子連れの姿が目立ち、今後のイベントの在り方を考えさせられる良いイベントであった。

陶磁器

・穏やかな秋の日が続き暮らすのには快適だったが、商売的には今一つの月だった。

・松本山雅 FC のJ2リーグ優勝とJ1への再昇格で街は大いに盛り上がりその余韻が続いている。来季への期待は大きい。

菓子

・観光客が減少している。景気動向特別調査を見ても中心市街地とイオンモールの共倒れとなってしまうそう。

生鮮食品

・毎年漬物の時期は売上が落ちるが、今年は10月、11月と2ヶ月続けて悪かった。

・仕入価格が何ヶ月もずっと高値のまま下ってこない。

・市内を歩いて回る為にも中町通りを10時から17時頃まで歩行者天国にしたらどうだろうか提案したい。

婦人服

・季節の商材(クリスマスニット等)の値頃で華やかな商材の動きが良く、月末には無くなった。ワクワクする接客、店作りが大切だと感じた。

・情報発信も喜ばれ、ミセスのランチ情報など足を運んで話題作りをしている。

・駅前商店の前に収集場所がなくゴミが散乱していて残念である。

5. 飲食業

売上高	受注量	受注単価	営業利益	今後3ヵ月
				
低調	低調	低調	極めて低調	まあまあ
(各項目別前年同月比)				

【項目別DIの推移】

	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
売上高	0.0	▲ 23.5	▲ 25.0	▲ 35.0	▲ 11.1	▲ 25.0	▲ 22.2	▲ 21.1	▲ 61.1	▲ 15.8	▲ 52.6	▲ 17.6	▲ 22.2
販売客数	5.9	▲ 23.5	▲ 30.0	▲ 30.0	0.0	▲ 12.5	▲ 22.2	▲ 21.0	▲ 72.2	▲ 15.8	▲ 52.6	▲ 11.7	▲ 22.2
販売客単価	0.0	▲ 23.5	▲ 25.0	▲ 10.0	▲ 5.5	▲ 12.5	▲ 16.6	▲ 10.5	▲ 33.3	▲ 5.3	▲ 36.8	▲ 5.9	▲ 27.8
営業利益	0.0	▲ 23.5	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 22.2	▲ 31.2	▲ 33.3	▲ 36.9	▲ 66.6	▲ 26.3	▲ 47.4	▲ 17.6	▲ 33.3
見通し	5.9	▲ 17.6	25.0	5.0	5.5	▲ 6.2	▲ 5.6	21.0	0.0	▲ 15.8	▲ 10.5	17.6	11.1

<経営者の目・見方・etc>

居酒屋

料理

- ・新規の店舗が出てきて飲食業の活性化に繋がっている。
- ・人の動きが少なく、仕入れも減った。
- ・農産物直売所が近くなり仕入れ方法が変わった。
- ・イオンの売出しで人の流れが東に向かい車もかなり渋滞した。
- ・人手不足が解消してみると、忙しさが半減し、忙しさのわりに売上も多くなかったことがよくわかった。
- ・12月の予約も日付が集中していて暇な日もありそうだ。

郷土料理

- ・気温と好天の紅葉シーズンに恵まれ、時期的に減少する観光客数に歯止めがかなり良い結果になった。

中華料理

- ・10月下旬に12月の第2金曜日大人数の予約を頂き、その後かなりの数の宴会予約をお断りした結果、11月最終日に最初の宴会がキャンセルになった。こういう事は仕方がないのだろうか。我々は泣き寝入りなのだろうか。是非皆さんのご意見を聞きたい。

創作料理

- ・お客様の購買動向が気になる。

仕出し料理

- ・松本山雅FCのJ2優勝とJ1昇格にともない、関連企業からの注文が増えて良い影響があった。

食堂

- ・売上はほぼ横ばいになった。イオンモール松本のブラックフライデーセール3日間は人出が多く周辺の道路は渋滞したが、来店客も多く売り上げ増になった。

そば

- ・天候にも恵まれ穏やかな陽気に人出も多くあった。

6. サービス業

売上高	受注量	受注単価	営業利益	今後3ヵ月
				
まあまあ	まあまあ	まあまあ	まあまあ	やや低調
(各項目別前年同月比)				

【項目別DIの推移】

	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
売上高	0.0	▲2.5	▲9.5	0.0	▲2.7	10.2	2.3	8.5	15.4	2.1	0.0	2.3	10.0
販売客数	▲2.3	▲9.8	▲23.9	▲12.8	▲5.4	6.1	▲8.9	6.4	1.9	▲8.4	▲4.2	▲7.0	0.0
販売客単価	▲4.6	▲2.4	▲4.8	0.0	8.1	4.0	4.4	4.3	5.8	4.2	4.2	7.0	4.0
営業利益	▲2.3	▲9.8	▲16.7	▲5.1	▲5.4	8.1	▲2.3	4.3	1.9	▲2.1	▲6.4	▲7.0	4.0
見通し	0.0	0.0	▲4.7	2.6	8.1	6.1	8.9	14.8	0.0	6.2	4.2	▲7.0	▲4.0

<経営者の目・見方・e t c>

自動車整備、 板金塗装 温泉旅館	<ul style="list-style-type: none"> ・季節がなかなか冬に向かっていかない感がある。タイヤ交換の時期であるが、お客様の気持ちはいかがだろうか。暖冬という予報もあり先行きに不安がある。 ・9月まで多忙だったが11月の動向は例年通り悪かった。ウインタースポーツの入り込みに期待する。
ホテル	<ul style="list-style-type: none"> ・婚礼検討者において中信地区全般に昨年と比べ動きが鈍い状況、宴会平均客数が減少傾向である。 ・宿泊者数は去年に届かなかったが、宴会は好調であった。12月の予約は好調で年明けの予約が少し弱い。
タクシー	<ul style="list-style-type: none"> ・上高地方面での今シーズンの営業は終了し全車が市街地での営業となった。シーズン中の営業実績はほぼ前年並みであった。
機械設計	<ul style="list-style-type: none"> ・中国の影響で一部の製造業が落ち着いてきた。 ・先行きは不透明である。 ・期末に向けてやるべき課題が多い。
ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> ・ひと頃よりシステムの内製化についてよく聞くようになった。ERP(事業所の資源計画)などお仕着せのパッケージ製品よりも既存のバリューチェーンを活かしつつ、自社システム担当者の育成による事業継続とプロセス改善がより重要との認識が生まれつつある。システム業者としては、より業務支援に踏み込んだ連携提案が必要になる。
ペットサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・客数、売上共に前年増であった。 ・少数精鋭で数字を上げているが、人手不足が深刻である。12月は繁忙期なので、スタッフの健康管理に注意が必要である。
ホームクリーニング、 リネンサプライ	<ul style="list-style-type: none"> ・横ばいの範囲内で売上増となっている。
美容	<ul style="list-style-type: none"> ・言われた通りに使っているのに髪が綺麗にならないヘアケア剤が99%を占めているので、髪の本質を美容師自身が学ぶ必要がある。

ネイル	<ul style="list-style-type: none"> ・ネイル月間だったためネイルエキスポやイベント、キャンペーンが実施され業界内は盛り上がっていた。今年のネイルクイーンも決定しテレビ等でも紹介された。年末年始に向けて、イベントやお出かけ前のネイルをする人が増える見込みである。
介護サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・要介護1～2の保険外しなど法律の改悪が心配になる。 ・2019年10月の消費税改正も心配になる。
教育業	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな動きはなく横ばい状態である。 ・12月はイベントを控えているので、少し宣伝になればいいと思う。
測量・建設コンサルタント業	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな仕事が数件取れて、売上が好調であるが、現場の人手が不足しバイトを探すのが一苦勞である。日当を上げてバイトを確保している。

